

承応三年分舩金被仰
付候事

一金拾壹匁貳分五リン知行
高百五拾石分二被仰付候
此手形を添右之御金早々
上可被申候也

明曆元年 勘左衛門印

八月廿五日 兵助印

九左衛門印

浜田彦十郎殿

右表書申候之金槌

取相成り候也

明曆元年 勘左衛門印

極月十二日 藤右衛門印

九左衛門印

弥六郎印

明曆元年分舩金被仰付候事

一金拾壹匁貳分五厘八知行
高百五拾石分二被仰付候
此手形を添右之御金
早々上可被申也

明曆元年 勘左衛門印

五月十七日 藤右衛門印

弥六郎印

浜田彦十郎殿

正保弍年分舩金▲▲事

一砂金七匁五分高百五拾石

分二被仰付候間今月

中二急差上可被

申候也

正保四年 幡山五左衛門印

二月十四日

浜田大隅殿

舩金被仰付候事

一金拾五匁八高百五拾石

慶安弍年同三年分

右之金子此手形を添

当月中二急度上可

被申候以上

慶安四年 漆戸勘左衛門印

十一月十七日

桜庭兵助印

毛馬内九左衛門印

浜田彦十郎殿

右表書金拾五匁之内

七匁五分令差上慥請取

納候残七匁五分来正月

中急差上可被申候也

慶安四年 勘左衛門印

極月廿日

兵助印

九左衛門印

万治三年分舩金被仰付候事

(厘)

一金拾壹匁貳分五厘知行

高百五拾石分二被仰付候

此手形を添御金早々

上ケ可被申候也

寛文元年 九左衛門印

十月廿七日 勘左衛門印

治大夫印

浜田彦十郎殿

寛文八年分舩金被仰付事

(厘)

一金五匁六分三厘知行高

百五拾石分但当月

奥様御供二而罷上二付

右之通半役二被仰付候

今月中此手形を添

上可被申候也

寛文九年 治太夫

十一月一日 兵助印

九左衛門印

弥六郎印

浜田甚五兵衛殿